

～ かがやく杉谷っ子のために ～

# ONE TEAM



島原市立第四小学校  
学校だより No.65  
令和3年7月14日(水)  
文責：校長 大槻浩二

## 学力調査の結果(2～4年生)

今年度5月に実施した学力調査における本校の2年生から4年生までの結果をお知らせします。2年生から4年生までは、「島原市学力調査」として、「東京書籍標準学力調査」を用いて実施しました。

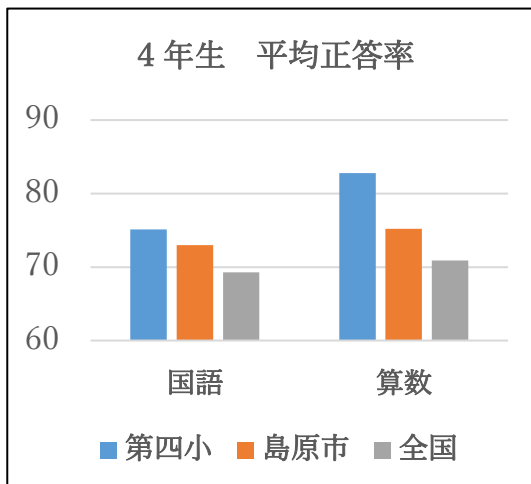
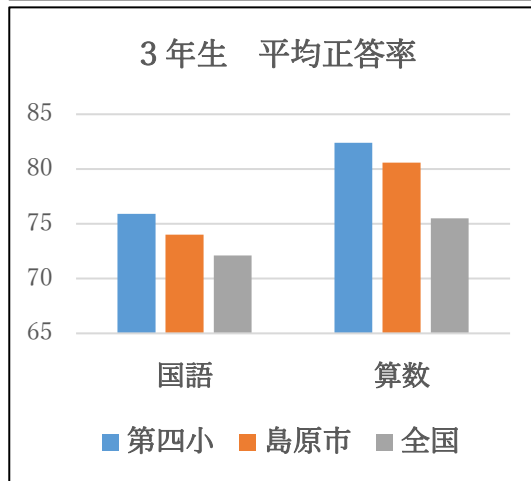
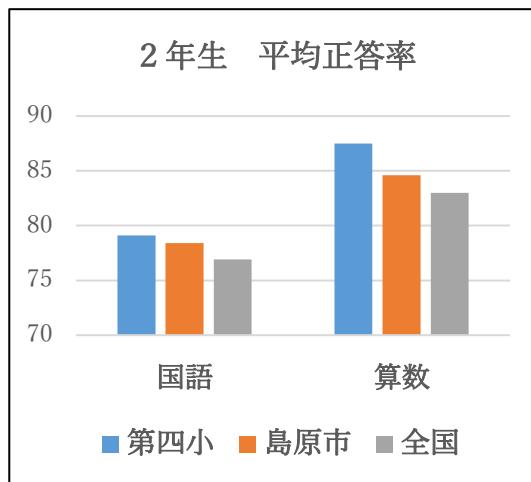
本校児童の平均正答率と、県又は全国の平均正答率との比較は、グラフ・表のとおりです。

**全学年、2教科とも全国・市の平均正答率を上回るすばらしい結果です。**昨年度も同様の結果であり、2年続けて良好な結果となっています。この結果は、教師の授業改善の努力、家庭学習の習慣化への協力等、これまでの積み重ねの結果です。自信につなげたいと思います。

**調査結果を受けての今後の取組こそ重要です。**学校では、課題分野に手立てを講じ、子どもたちの学力保障をさらに図っていきます。**個人結果を配布しますので、一緒にご覧になり、称賛と励ましをお願いします。**なお、5年生と6年生については結果がわかり次第、お知らせいたします。

【全国平均正答率との比較】

		国語	算数
2年生	島原市	+1.5	+1.6
	第四小	+2.2	+4.6
3年生	島原市	+1.9	+5.1
	第四小	+3.8	+6.9
4年生	島原市	+3.7	+4.3
	第四小	+5.8	+11.9



※平均正答率とは、各児童について全設問における正答数の割合を算出した値（個人の正答率）を足し合わせ、児童の人数で割った値

## 有効な学習ツールとして

毎週水曜日の「GIGA time」、各教科の学習で一人1台PCの活用が広がっていますが、感じるのは子どもたちの操作スキルの習得の速さ。また、教師側も「使うことを目的にした授業」ではなく、「使うことで効果が高まる授業づくり」になっています。反面、子どもたちには情報モラルを指導していくことの必要性を感じています。最近の活用事例をいくつか紹介します。

### 副教材として

3年生の社会科の学習では、「私たちの島原市」という副教材のデジタル版を使って学習していました。教科書と併用して使うことで理解が深まっています。また、すぐに子どもたちが開けるように同じような様々なコンテンツをHPの専用ページに張り付け、「いつでも、すぐに活用」できるようにしています。

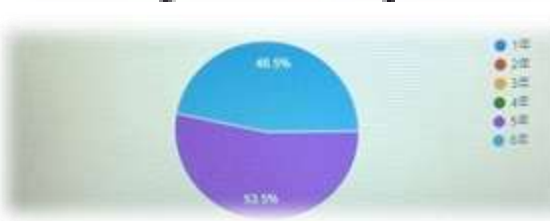


6年生の国語「私の枕草子」という学習。「Classroom」というアプリで教師が配布した教材に自分の作品を「Googleスライド」を使って作成し、教師にPCから提出します。自分の俳句のイメージに合った画像を検索、挿入し、仕上げていました。

### 俳句の作品づくり

### 共同作業

2年生の国語。「Google Jamboard」というアプリを使い、ホワイトボードにグループで書き込む共同学習を行っていました。見つけた言葉を自分のPCから書き込むことで、班のホワイトボードに次々と言葉が集まっていきます。タブレットの手書き入力を活用し、キーボードを使わなくてもできます。



5・6年生には、養護教諭と栄養教諭が「Google Forms」というアプリで作成した「おやつアンケート」をQRコードからPCで読み取り、回答を入力し、送信していました。回収する教師のPCでは、児童が送信するたびにアンケート結果が即時にグラフ化されていきます。

### アンケート調査

※ いよいよ梅雨明け間近ですね！  
夏の日差しが強くなってきました。  
熱中症指数に注意しましょう！

